しんり幼稚園囲碁授業カリキュラム　　日本棋院　棋士　水間俊文八段

二日目

0945～0955

あいさつ

囲碁体操

前回の復習

ルール1：黒白交代で交点に置く

ルール2：縦か横の線でつながると仲間になる（ナナメはつながっていない）

ルール3：線の出ていない石は取れる（1本でも線が出ていれば生き残れる）

0955～1005

ルール3までを使って10分練習

※練習を始める前と終わりにあいさつ「よろしくお願いします」「ありがとうございました」

1005～1010

ルール4：自分から線が出なくて石を取られる所には置けない



※×は黒が待ち構えている「落とし穴」で白が石を置いても線が出ない

ので置くことができない

※難しい言葉では「着手禁止点」と言う

※囲碁が「できる人」や「強い人」が犯すと「反則負け」となるが

　入門者の段階では「そのまま取ってゲーム続行」とする

※×やＡのような所にも白は線が出ないため置くことができない

※仲間になっても線が出ないのでは盤に生き残れない

※黒からは×やＡに置いて白を取ることができる

※Ａは黒も線が出ないが相手を取れる場合は「着手禁止点の例外」と

なり置くことができる（ルール6で説明）

1010～1020

ルール4までを使って10分練習

※ただし、まだこの時点ではどうしても置いてしまう子もいるので

　置いても構わないがすぐに相手の子（黒）が取って黒の番になる

※×に白が石を置いたら「黒にプレゼントだね！」とでも言ってあげる（「ダメ」はＮＧ）

※「着手禁止点の例外」に気づいて疑問を投げかけられたらその子は賢い子です！「相手を取れる時は置けるんだよ！次回先生がお話しするからね！」と伝えてください。

1020～1025

ルール5：置きたい場所がなくなったら「パス」をする

※パスをすると相手の番になる

※パスは何回でも使える

※パスをした後でも自分の番がきて置きたい場所があれば置くことができる

※二人が続けてパスをしたらゲームは終わり



※左のようになるとこれ以上石を置いても良いことがない

※黒が白を取ろうとして×に置くと白に取られてしまう

※白が黒を取ろうとして△に置くと黒に取られてしまう

※黒は△に線が出ていることで黒石達は生き残ることができる

※白も×に線がでていることで生き残ることができる

※もし黒△に黒石を埋めていってしまうと…

　　　　↓



※黒△を含め全ての黒石がつながって仲間となるが線が一本も

　出ていないため…

　　　　↓



※黒石が全部取られてしまいます

※線の出ている隙間は自分の石を生き残らせるための大切な「空間」

なので残しておきましょう

※相手が置けない空間があれば自分の石を取られることも無い

1025～1040

ルール5までを使って15分練習

※ルールをしっかり守ってゲームを終えることが大切

※勝ち負けは問わずお互いが取った石を数えられれば良し

※いろいろなお友達と対戦しよう

1040～1045

おかたづけと終わりのあいさつ

囲碁体操の追加